

# 市長への手紙から



大村知事に赤電存続を訴える稲葉市長

市民の皆さんが日ごろ思っているまちづくりへの意見やアイデアを、直接市長に伝えることのできる「市長への手紙」。今年は165通、245件のご意見をいただきました。  
この中から、主なご意見をお知らせします。



市は、平成21年度に赤い電車を残し、応援するため「市民まるごと赤い電車応援団」を結成し、現在22団体の皆さんと一緒に利用者を

僕たちは学校で赤い電車の勉強をしています。赤い電車を残してください。募金をしたらどうですか。

竹島ばるくを始めてする各所施設については、地場産業や市民との連携などが不可欠であると考えます。竹島ばるくの施設は民間企業所有となるので、協調して利用について検討していきたいと思えます。  
竹島周辺では平成24年度から年2回、市民団体の方が「彩まち竹島てづくり市」を開催し、多くの市民・観光客で賑わいました。市としてもこのイベントがより盛り上がるよう応援してまいり



竹島ばるくなど竹島周辺がもっと賑やかにならないか。蒲郡一の観光地なのに残念。

増やすため、いろいろな活動を行っております。  
24年度の主な活動は、名鉄駅前にて吹奏楽コンサートや健康ウォーキング、部活動練習会などを赤い電車が走っている西尾市と合同で行いました。その努力もあり、21年度から利用者は、着実に増えております。募金箱を置くことも1つのPR方法として検討していきたいと考えております。  
私としては、皆さんが赤い電

ます。このような地域からの活動が、素敵な店舗に発展できたら最良と考えております。  
また竹島水族館もがんばって



今年10月の「彩まち竹島てづくり市」

車を残すため、勉強していただいていることを大変うれしく思います。また、たくさんの皆さんが残したいという意見をしっかりと受け止めたと思います。  
赤い電車を残すには、利用していただくことが大切なことなので、学校の先生をはじめ、家族や友達に利用を呼びかけていただきたいと思えます。  
**対策** 愛知県知事に赤い電車存続の要望書を提出してきました。